

令和3年10月14日

令和3年度病虫害防除技術情報（第9号）

和歌山県農作物病虫害防除所

果樹カメムシ類の発生状況について

紀の川市粉河、有田川町奥、みなべ町東本庄でツヤアオカメムシの誘殺数が増加傾向です。また、紀の川市粉河ではチャバネアオカメムシの誘殺数が平年に比べてやや多くなっています。ほ場内を定期的に観察し、発生が認められたら早めの防除を行いましょう。

1. 病虫害名：ツヤアオカメムシ（発生量：並～やや多）  
                  チャバネアオカメムシ（発生量：並～やや多）
2. 対象作物：カキ、カンキツ
3. 対象地域：県内全域
4. 加害期間：7月下旬～11月下旬
5. 発生状況：
  - 1) ツヤアオカメムシ
    - (1) 紀の川市粉河の予察灯による誘殺数は9月下旬が109頭（平成192頭）、10月上旬が169頭（平成214頭）であった（表1）。
    - (2) 有田川町奥の予察灯による誘殺数は9月下旬が256頭（過去7年の平均273頭）、10月上旬が626頭（同378頭）であった（表1）。
    - (3) みなべ町東本庄の予察灯による誘殺数は9月下旬が1,067頭（平成3,713頭）、10月上旬が4,173頭（平成5,663頭）であった（表1）。

表1 各地域の予察灯によるツヤアオカメムシの誘殺数（単位：頭）

調査場所	調査時期	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	平年
紀の川市粉河	9月下旬	41	7	147	250	98	257	712	173	212	24	109	192
	10月上旬	10	6	389	88	51	321	1,012	181	65	20	169	214
有田川町奥	9月下旬	-	-	-	197	36	155	1,369	31	76	45	256	273
	10月上旬	-	-	-	201	19	117	2,056	129	72	53	626	378
みなべ町東本庄	9月下旬	353	104	7,230	4,294	967	275	22,269	447	740	449	1,067	3,713
	10月上旬	362	9	19,528	4,614	165	197	30,654	438	553	106	4,173	5,663

※表中の-は欠測を示す

※有田川町奥の平年の数値は過去7年の平均を示す

- 2) チャバネアオカメムシ
  - (1) 紀の川市粉河の予察灯による誘殺数は9月下旬が228頭（平成167頭）、10月上旬が278頭（平成140頭）であった（表2）。
  - (2) 有田川町奥の予察灯による誘殺数は9月下旬が86頭（過去7年の平均149頭）、10月上旬が53頭（同102頭）であった（表2）。
  - (3) みなべ町東本庄の予察灯による誘殺数は9月下旬が352頭（平成1,749頭）、10月上旬が151頭（平成1,044頭）であった（表2）。

表2 各地域の予察灯によるチャバネアオカメムシの誘殺数（単位：頭）

調査場所	調査時期	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	平年
紀の川市 粉河	9月下旬	13	1	96	215	80	339	574	146	175	29	228	167
	10月上旬	1	1	228	44	10	150	755	138	68	3	278	140
有田川町 奥	9月下旬	-	-	-	107	8	80	739	53	42	13	86	149
	10月上旬	-	-	-	79	3	35	480	82	25	10	53	102
みなべ町 東本庄	9月下旬	442	12	9,029	362	162	137	6,870	338	96	40	352	1,749
	10月上旬	78	0	7,036	208	18	53	2,952	68	26	4	151	1,044

※表中の-は欠測を示す

※有田川町奥の平年の数値は過去7年の平均を示す

## 6. 防除上の注意事項

- カメムシ類の発生量はほ場間差が大きい。ほ場内での発生及び被害状況をよく観察し、防除は発生に応じて早めに行う。
- 山林に隣接するカキ、カンキツほ場では発生量が多く、集中して加害される傾向があるので、特に注意が必要である。
- カキでは「富有」、カンキツでは収穫時期の早い極早生ウンシュウミカンで被害が大きいため発生に注意する。
- 台風通過後や強風後には、一時的に発生が多くなることがあるので注意する。
- 夜温が低下するとほ場への飛来数が減少する。チャバネアオカメムシは、11月以降にはほ場外の越冬場所に移動するため加害は通常10月末で終息する。一方、ツヤアオカメムシは、カンキツでは樹上で越冬するためほ場内に生息しており、11月でも最高気温が20℃以上になると加害することがある。
- 今後の発生動向については、農業環境・鳥獣害対策室のウェブページ内農作物病害虫防除所の果樹カメムシ情報 (<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/boujyosyo-yosatsujyouhou.html>) や各地域の振興局、JA 等の情報を参考にする。
- 防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>）を参照し、適正に使用する。特に収穫が近いほ場では薬剤の収穫前日数に注意する。

和歌山県農作物病害虫防除所 紀の川駐在 (0736-73-2274)  
有田川駐在 (0737-52-4320)